

会報

Bulletin



Topics

香川高専産業技術振興会総会を開催しました。

9月21日(水)、リーガホテルゼスト高松にて、第7回香川高等専門学校産業技術振興会総会を開催しました。

総会には、法人会員、個人会員及び香川高専教職員を含めて総勢52名が参加し、平田会長(株式会社ヒューテック相談役)及び八尾校長(香川高専)の挨拶の後、第7事業年度の事業報告・会計報告および第8事業年度の事業計画・予算が提案され、承認を受けました。

総会にあわせて、会員企業との共同研究等の活性化を目的としたシーズ発表会、日本弁理士会四国支部副支部長 中井博氏による「高専と弁理士会の連携の紹介と知財を活かした産学連携」と題した講演会を企画し、大変充実した内容となりました。

その後、会場を移して会員企業間や教職員との交流会が行われ、和やかな雰囲気の中での懇親、交流がはかられました。



目次

contents

- 2 役員挨拶
- 4 校長挨拶
- 5 総会報告
- 7 活動報告

- 9 香川高専の活動紹介
- 11 会則及び細則
- 13 役員名簿・会員名簿
- 15 事務局からのお知らせ

役員挨拶

副会長挨拶

株式会社タダノ
取締役執行役員常務 西 陽一郎



昨年に引き続き、副会長を拝命いたしました株式会社タダノの西でございます。

英国のEU離脱(ブレグジット)に続いてトランプ氏のアメリカ大統領選勝利と、想定外の事が立て続けに起こりました。そしてそれらのことが株価や為替を通して我々の経営に対しても直接的な影響を与えるようになっていきます。まさに世の中は、より複雑・高速・極端に動くようになってきているのではないかと思います。そんな中であつて、産業技術というものがいったいどのような役割を担っていくことになるのだろうか?と考えています。

IOT、AI、Induatrie4.0など、我々の産業界は、「情報」をキーワードとした大きな変革の時期を迎えていると言えるのではないのでしょうか?

乗り遅れないように意識しながらも、守るべきものは守る、変えるべきものは変える、何が本当に大切なのかを常に見極めていかなければいけないと思うこの頃です。

今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

副会長挨拶

株式会社百十四銀行
取締役常務執行役員 小槌 和志



この度、副会長を仰せつかりました株式会社百十四銀行の小槌と申します。

銀行という職業柄、様々な産業界の方々と接する機会に恵まれておりますが、各界の皆様の最近の話題は、『技術革新の早さと人口減少及び人手不足』です。

ドッグイヤーと言われるように、あらゆる産業分野で技術革新がもの凄いスピードで起こっています。その革新はハード・ソフトの両面で進み、その複合的な活用で、産業構造や人の考え方を根本的に変えなくてはならないような時代を迎えようとしているように思えます。自動車が無人で運転され、囲碁のような複雑なゲームで名人を負かすなど、およそ実現には時間を要すると思われたことが、現実化しております。

今後、さらにAIの活用を核に産業技術革新が進み、我々が直面する大きな問題の『人口減少や人手不足』の答えが得られるのではないのでしょうか。

そうした産業技術革新の中核的役割をこの香川高等専門学校産業技術振興会が担われることを大いに期待いたしております。さらに、地域の金融機関として地方発の技術が実用化され様々な産業界で飛躍するお手伝いをさせて頂きたいと存じます。

役員挨拶

理事挨拶

株式会社香川銀行
専務取締役 本田 典孝



本年より理事を拝命しました香川銀行の本田と申します。

現在の日本経済は緩やかな回復基調にあると言われてはいますが、地方に目を向けますと少子高齢化や人口の流出、需要の減少といった大きな問題に直面しています。こういった環境条件の重なりから、国の資料にも「地方産業は概ね生産力が低い」という表現が見られる状況となり、地方創生が強く求められるようになりました。

これらの問題を解決していくためには、地元産業界の生産力を高めて地方に仕事を創出すると共に、働ける環境づくりを整備していくことが最優先事項であると考えます。そして、地元企業の方々が問題解決の中心的役割を担っており、私ども地域金融機関は地元企業の方々をサポートする役割を担っていると思っています。

本会の活動を通して地方の経済発展に寄与できるよう尽力して参る所存です。何卒宜しく願い申し上げます。

理事挨拶

株式会社四国総合研究所
代表取締役社長 澤田 佳孝



この度、理事を拝命しました澤田です。よろしくお願い申し上げます。

英国のEU離脱に驚いていたら、11月には、過激な発言を連発していたトランプ氏が米国の次期大統領に選ばれました。世界は、まさに激変の時代、従来の延長線上ではない「不連続な時代」に突入したようです。

日本では、少子高齢化、東京一極集中・地方の疲弊などと言った根源的な問題が、従来以上に深刻度を増しています。四国はその最先端に立たされています。今後、日本あるいは四国が、これらの問題を克服し、大きく変化する世界に伍していけるかどうかは、すべて「ヒト」に懸かっていると思います。「不連続」に惑わされることなく、志しを持って激変の世界で活躍できる「ヒト」を「連続」して育てていく必要があります。

本振興会において、香川高等専門学校と地域の産業界が連携・協力して、「ヒト」を大事にしていくことが、日本あるいは四国の発展につながるものと確信しております。

理事挨拶

四国旅客鉄道株式会社
専務取締役鉄道事業本部長 西牧 世博



この度、理事を拝命したJR四国の西牧でございます。皆様には大変お世話になっており、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社は「安全の確保」を最重要課題とし、「お客様に『安心して』『喜んで』『末永く』ご利用いただく」を掲げ、日々の業務に取り組んでおります。

産業界においては、技術の進展により優れた設備やシステムが構築されていますが、それらを扱う「人」こそが重要であります。弊社も、安全を最優先とする企業風土を醸成するためにも、「人」の力を向上し、そのレベルを継続していくことが重要な鍵であると考えております。

そのためにも、本振興会の活動を通して、地域との連携を今以上に深め、協力体制を築き、活動を継続していくことが、四国全体の発展につながると考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

校長挨拶

□ 校長挨拶

香川高等専門学校
校長 八尾 健



産業技術振興会の皆様には、ご健勝でご活躍のことと存じます。日頃は香川高等専門学校をご支援いただき、誠に有難うございます。厚く御礼申し上げます。今年度におきましては、高専ロボットコンテストで高松キャンパスのチームが全国優勝をいたしました。また詫間キャンパスの学生が、高専史上初めて国際科学技術財団に選ばれてノーベル賞授賞式に招待されました。いずれも素晴らしい快挙と存じます。現在、ICTはIoT、ビッグデータ、AI等に代表される新たな隆盛の段階に入っているのに対し、片やものづくりの要素技術は成熟の域に達してきています。技術革新に、技術者の感性が大きく影響してくる時代と言えるのではないのでしょうか。技術も多分に人間性の現れであり、その意味におきまして、高専におきまして、技術者教育が主要であることは言うまでもありませんが、人間形成の教育が重要と考えます。その上に立って、確固たる基礎学力、高度な専門知識を教育し、優秀な人材の育成を推進していく所存です。

産業界ならびに地域との連携については、これを最重要課題ととらえ、地域人材開発本部を所管部署として地域産業界との連携を深め、本校が有する人・知・物的資源を活用し、地域産業の発展を図るとともに、本校の教育を発展させる事業をすすめています。産業技術振興会からの大きなご援助をいただいております。深く感謝申し上げます。平成26年度から制度化されました、産業技術振興会と本校との共同研究等推進支援事業では、多くのご援助を頂きました。厚く御礼申し上げます。

香川高専では、グローバル化への対応を、積極的に進めています。今年度のトビタテ!留学Japan「香川地域活性化グローバルコース」には、大学生に混じって、本校から派遣留学生が選ばれました。技術振興会の平田会長様、住田理事様、山地監事様からは、留学費用のご援助を頂きました。心より感謝申し上げます。実りある留学生活を送ることを期待しています。国際交流活動では、学術交流協定を締結したフランスのツール大学ブローア校から、4月から7月まで、短期留学生を受け入れました。9月からは、本校から交換にツール大学ブローア校に短期留学生を派遣しています。またマレーシアのマラ大学並びにタイのラジャマンガラ大学とも学術交流・学生交流を進めています。

産業技術振興会の皆様方のますますのご発展とご健勝をお祈りいたします。今後とも、本校の学生及び教職員の教育研究に、また産業界ならびに地域との連携に対し、さらなるご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

総会報告

日時	平成28年9月21日(水) 午後4時15分～午後5時00分
場所	リーガホテルゼスト高松 (場所:3階 ダイヤモンド西の間)
次第	1.開会の辞 2.会長挨拶 株式会社ヒューテック相談役 平田 喜一郎 3.校長挨拶 香川高等専門学校長 八尾 健 4.議 事 (1)第7事業年度事業報告について (2)第7事業年度会計報告について (3)第8事業年度事業計画について (4)第8事業年度予算について (5)役員交代について (6)その他 5.閉会の辞

◎第7事業年度事業報告について

- I 産学連携による技術開発の推進、地域産業の発展に関すること。**
(1)シーズ発表会等の案内及び開催
- II 技術に関する講演会、講習会、研修会などの開催及び情報誌の発行。**
(1)講習会、研修会等の後援および案内 (2)イブニングセミナーの開催
(3)教職員の会員企業訪問見学会 (4)会報の発行
- III 技術分野での技術相談、情報交換に関すること。**
(1)共同研究・受託研究・技術相談の件数(平成27年度) (2)共同研究等推進支援事業による支援件数
- IV 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。**
(1)会員企業への出前講座
- V インターンシップ、共同教育に関すること。**
(1)インターンシップの受入れ先(平成28年度) (2)会員企業技術者の客員教授としての学生教育の実施
- VI 企業説明会・見学会、卒業生による就職説明会に関すること。**
(1)合同企業説明会への参加
- VII 香川高専の教育・研究の充実、振興に関すること。**
(1)発明コンテストの補助 (2)平成27年度出前授業等(香川県との連携) (3)平成27年度キャリア概論
(4)平成27年度香川県大学等魅力づくり補助金事業による地域企業研究授業
- VIII その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。**
(1)産業技術振興会HPの更新

◎第7事業年度会計報告について

【収入の部】

事 項	収入額	概 要
前期繰越金	2,534,178 円	
会費収入	3,100,000 円	
その他収入	592 円	
合 計	5,634,770 円	

【支出の部】

事 項	支出済額	概 要
技術者育成事業経費	938,588 円	見学会及講師謝金他
共同研究等推進支援事業経費	1,000,000 円	振興会共同研究等支援事業
就職説明会実施経費	518,338 円	会場設営費
運営経費	1,070,403 円	会場借上料他
次期繰越金	2,107,441 円	
合 計	5,634,770 円	

【会計監査報告】 会計監査人 株式会社レクザム 取締役副社長生産本部長 住田 博幸
会計監査人 株式会社石垣 取締役執行役員開発部長 片山 雅義

総会報告

◎第8事業年度事業計画について

- I 産学連携による技術開発の推進、地域産業の発展に関すること。**
(1)シーズ発表会等の案内
- II 技術に関する講演会、講習会、研修会などの開催及び情報誌の発行。**
(1)講演会等の開催(1回) (2)講習会、研修会等の案内・補助 (3)イブニングセミナー開催
(4)研究交流会の案内 (5)教職員の会員企業訪問見学会 (6)会報の発行
- III 技術分野での技術相談、情報交換に関すること。**
(1)技術相談、共同研究、受託研究の促進 (2)共同研究等推進支援事業の支援
- IV 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。**
(1)会員企業への出前講座の実施
- V インターンシップ、共同教育に関すること。**
(1)インターンシップへの支援 (2)企業技術者活用教育
- VI 企業説明会・見学会、卒業生による就職説明会に関すること。**
(1)合同企業説明会の開催
- VII 香川高専の教育・研究の充実、振興に関すること。**
(1)サイエンスフェスタへの企業展示依頼 (2)発明コンテストの補助
- VIII その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。**
(1)振興会パンフレット作成・配布 (2)振興会HPの維持管理

◎第8事業年度予算案について

【収入の部】

事 項	予算額	概 要
前期繰越金	2,107,441 円	
会費収入	3,190,000 円	
その他収入	590 円	
合 計	5,298,031 円	

【支出の部】

事 項	予算額	概 要
講演会等実施経費	100,000 円	講師謝金及旅費
技術者育成事業経費	877,000 円	見学会及講師謝金他
共同研究等推進支援事業経費	1,000,000 円	振興会共同研究等支援事業
就職説明会実施経費	550,000 円	会場設営費
運営経費	1,370,000 円	会場借上料他
予備費	1,401,031 円	
合 計	5,298,031 円	

◎役員交代について

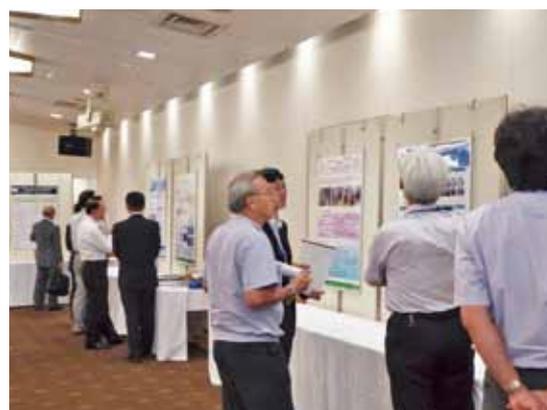
- I 理事の就任について** 株式会社香川銀行 専務取締役 本田 典孝 様
- II 副会長の交代について** (旧) 株式会社百十四銀行 代表取締役専務執行役員 綾田 裕次郎 様
(新) 株式会社百十四銀行 取締役常務執行役員 小槌 和志 様
- III 理事の交代について** (旧) 株式会社四国総合研究所 代表取締役社長 藤本 靖 様
(新) 株式会社四国総合研究所 代表取締役社長 澤田 佳孝 様
- (旧) 四国旅客鉄道株式会社 代表取締役専務鉄道事業本部長 半井 真司 様
(新) 四国旅客鉄道株式会社 専務取締役鉄道事業本部長 西牧 世博 様

活動報告

◎シーズ発表会について

平成28年9月21日(水)にリーガホテルゼスト高松において、香川高専教員によるシーズ発表会を行いました。この発表会は、振興会会員企業との共同研究推進を図ることを目的として、総会の日程に併せて実施したものです。

香川高専の全7学科から、各2ブースの出展がありました。14時からショートプレゼンテーションを行い、その後、パネルディスカッションを行いました。昨年と同様に、振興会会員企業と香川高専教員との活発な意見交換があり、共同研究を推進する上で有意義な時間となりました。



【展示内容一覧】

No.	学科名	発表教員	ポスター内容
1	機械工学科	小島 隆史	低温予混合ディーゼル燃焼過程の数値解析
2	機械工学科	高橋 洋一	フローフォーミングを用いた自動車用部品のニアネットシェイプ成形
3	通信ネットワーク工学科	塩沢 隆広 草間 裕介	EMC対策サイトとして利用可能な電波暗室
4	通信ネットワーク工学科	草間 裕介	高周波エンジニア育成プログラムの開発
5	電気情報工学科	村上 幸一	植物工場における低カリウム野菜の非破壊全数検査手法に関する研究
6	電気情報工学科	雛元 洋一	単一周波数IIRノッチフィルタの正規形状空間実現とその適応ノッチフィルタへの応用
7	電子システム工学科	長岡 史郎	理科室で実現するナノテクプラットフォームと技術開発教育への応用
8	電子システム工学科	藤井 宏行	世代へ受け継ぐ外国航路船員の知識・経験～粟島海員学校OBが語る船員の仕事と日常～
9	機械電子工学科	正箱 信一郎	簡易ツールとマシニングセンタを用いたアルミニウム合金の摩擦攪拌接合
10	機械電子工学科	石井 耕平	付け爪型脈波計の開発と在宅医療への展開
11	情報工学科	宮武 明義	小・中学校で運用可能なe-ラーニングシステムの開発
12	情報工学科	川染 勇人	再結合プラズマ軟X線レーザーの発振条件の最適化
13	建設環境工学科	向谷 光彦	原位置透水試験装置の自動計測化と浅層型パッカーの改善
14	建設環境工学科	鈴木 麻里子	循環型社会形成推進へ向けた建設資材の研究開発

活動報告

◎特別講演会及び交流会について

平成28年9月21日(水)にリーガホテルゼスト高松において、日本弁理士会 四国支部 副支部長 中井 博氏による特別講演会を総会の日程に併せて開催しました。

講演会には、香川高専産業技術振興会の法人会員、個人会員及び香川高専教職員が参加し、「高専と弁理士会の連携の紹介と知財を活かした産学連携」と題してご講演いただきました。

引き続き、四国産業・技術振興センター 総務企画部 部長 千葉 幸弘 氏より「四国地域イノベーション創出協議会事業紹介」をしていただきました。

その後、会場を移して会員企業間や教職員との交流会を開催し、終始和やかな雰囲気の中、懇談、交流が行われました。



◎イブニングセミナーの開催について

香川高専では、振興会会員企業と香川高専教職員の交流を深め産学連携を推進するために、「イブニングセミナー」を定期的で開催しています。主に一般系、機械系、電気系、情報系、土木系、建設環境系に分け、話題提供者は、香川高専教員だけでなく会員企業の経営者又は技術者の方にもご協力頂いています。開催状況は次のとおりです。

平日の夜や休日等に開催しておりお気軽にご参加頂く行事として今後も計画しますので、お時間の都合がございましたら是非ご参加ください。

第49回/平成28年8月7日(日) 10:30~17:00

講師: 香川高専 電気情報工学科 准教授 村上 幸一

- 話題: 1.開発環境・実機環境インストール相談
2.デモ「RaspberryPi でIoT的なことしてみよう」
3.最新のWindows 10 IoT Core for RaspberryPiについて
4.その他、RaspberryPi全般に関する情報交換

第50回/平成28年11月26日(土) 10:30~17:00

講師: 香川高専 電気情報工学科 准教授 村上 幸一

- 話題: 1.開発環境・実機環境インストール相談
2.製作事例発表「みんなのラズパイコンテスト準グランプリ受賞作品」
3.RaspberryPi2またはRaspberryPi3
4.その他、事例発表など



香川高専の活動紹介

◎第7回香川高専発明コンテストの表彰並びに実用新案権の取得について

第7回発明コンテストの表彰者が下記のとおり決定しました。表彰式は校長室に於いて、平成28年12月19日(月)に実施しました。

また、第6回発明コンテストのプレゼン審査において、香川高専産業技術振興会長賞(技術賞)を受賞した機械工学科2年生の大木悠吾くんによる発明『磁気ボード』が実用新案権を取得しました。

香川高専の知財アドバイザーや弁理士の助言のもと、学生が自ら申請書類を作成して手続きを行い、実用新案権の取得に至りました。

今後とも、香川高専においては校内発明コンテストや各種の知財教育を通じて、知的財産に関する実践的な教育を行ってまいります。

👑全国パテントコンテスト推薦賞(最優秀賞)

柏原 斉佳 機械工学科 5年 1件(1名)

👑香川高専校長賞(優秀賞) 1件(1名)

直井 珠実 機械電子工学科 5年

👑香川高専産業技術振興会長賞(技術賞) 1件(3名)

天野 息吹 機械工学科 1年

岡田 響 機械工学科 1年

富田 自然 機械工学科 1年

👑地域イノベーションセンター長賞(アイデア賞) 1件(2名)

林 大智 機械工学科 1年

神田 脩太 機械工学科 1年

👑奨励賞 1件(2名)

小比賀 航成 機械工学科 1年

小田 創 機械工学科 1年



◎技術講座の実施について

香川高専では、かがわ産業支援財団(かがわ中小企業応援ファンド)と共催で製造技術の高度化やIT化の進展に対応できる人材の育成を図ることを目的とし、企業の中核として活躍が期待される技術者等を対象とした各種技術講座を実施しています。

最近の開催内容については以下のとおりです。

第1回【組込み技術セミナー(基礎コース)】

講師:三浦 元 氏、稲村 潤一 氏(SESSAME)

日程:平成28年8月24日~26日

- 内容: 1. 工程と品質の基礎知識
2. ハードウェア基礎知識
3. Cプログラミング基礎
4. H8マイコンを用いたプログラミング実習

第2回【現場ですぐに役立つ三軸試験セミナー(基本コース)】

講師:本郷 隆夫 氏、赤井 俊文 氏、平野 浩二 氏(一般財団法人地盤地盤環境研究所)
濱 賢治 氏((株)ダイソク)
久保 慶徳 氏(元:(株)四電技術コンサルタント)
向谷 光彦、鈴木 麻里子(香川高専)

日程:平成28年8月26日

- 内容: 1. 三軸試験による土の強度定数 c, ϕ について
2. 室内モデル土槽における地盤現象の把握
3. 三軸試験の基本操作と実際
4. 試験結果の整理と実務への適用

第3回【有限要素法解析入門】

講師:岩田 弘(香川高専)

日程:平成28年9月1日~2日

- 内容: CAE入門、ANSYS EDの概要と基本操作
実習1: 静解析のモデル化と解析
実習2: 動解析のモデル化と解析
講演「設計者がCAEを使うためのハードル」
実習3: 熱解析のモデル化と解析実習
実習4: 連成解析のモデル化と解析実習
実習5: その他解析/事例紹介



第4回【組込み技術セミナー(組込みAndroidコース)】

講師:鈴木 圭介 氏、桐畑 鷹輔 氏(日本Androidの会 神戸支部)

日程:平成28年9月24日

- 内容: Androidにはないセンサー類(例えばアルコールセンサ、距離センサ、赤外線発信等)と組み合わせて、Androidでビジュアル化する。スマホとセンサを組み合わせたIoT(Internet of Things)

第5回【最新!原位置透水試験法(基本コース)】

講師:能野 一美 氏((株)四電技術コンサルタント)
赤坂 忠生 氏((株)ナイバ)
久保 慶徳 氏(元:(株)四電技術コンサルタント)
向谷 光彦(香川高専)

日程:平成28年10月21日

- 内容: 1. 室内モデル地盤における浸透現象の把握と基礎知識
2. 屋外における原位置透水試験の実施
3. 低透水性地盤と高透水性地盤への適用
4. 表計算ソフトを用いたデータ解釈の流れ

第6回【組込み技術セミナー(実力養成コース)】

講師:三浦 元 氏、平野 誠太郎 氏(SESSAME)

日程:平成28年12月8日~9日

- 内容: 1. 開発課題と失敗事例の解説
2. 組込み向け構造化分析・設計(講義と演習)
3. 組込みプログラミング(講義と演習)
4. ソフトウェアテストレビュー(講義と演習)

香川高専の活動紹介

◎公開講座「疲労設計と材料力学の基礎講習会」を開催しました

平成28年9月26日、27日の両日13時から16時まで、地域イノベーションセンター会議室にて公開講座「疲労設計と材料力学の基礎講習会」を実施しました。

今年度は香川高専産業技術振興会会員企業から10名の出席がありました。疲労現象と事例紹介をはじめとして、疲労設計に必要な材料力学や、疲労問題を検討するための手法についての講義と演習を行いました。



◎特別講演会「水素社会に向けて～学生よ、大志を抱け!～」を開催しました

平成28年10月20日(木)に、香川高専同窓会高松工業会会長の住田博幸氏を講師としてお招きし、香川高専高松キャンパス第一体育館およびグラウンドにおいて、特別講演会を開催しました。

講演会には、報道取材も入る中、約700名の香川高専学生・教職員・産業技術振興会会員等が出席し、「水素社会に向けて～学生よ、大志を抱け!～」を演題にご講演いただいた後、グラウンドに移動して、実際に学生を燃料電池車に同乗させての乗車体験が行われました。

講演では、自身が副社長を務める株式会社レクザムの紹介に始まり、水素の説明からその製造方法、水素エネルギーの利用についてご説明された後、「できない」と言わない姿勢が可能性を広げてきた、として学生へエールを送られました。

乗車体験では、各クラス代表者が燃料電池車に乗り込みグラウンドを一周することで、実際に水素と酸素から発電して動く自動車の振動や音などを体感しました。

参加者からは、「私たち学生に希望や自信をもらえる講演はうれしい」「今勉強していることを極めれば大きなものになるのだと思った」「技術の進歩を感じられるものを目の当たりにして感動した」「技術の進歩にワクワクが止まらない」といった意見が寄せられ、大盛況な講演会となりました。



◎平成28年度「香川県大学等魅力づくり補助金」による講義と工場見学を実施しました

平成28年9月29日(木)に産業技術振興会会員企業である日本興業(株)の松山哲也氏による「ため池等の付帯構造物を形成するコンクリート2次製品」と題した講義を、アドバンスコース 協働科目I技術科学フロンティア概論の履修者35人(高松キャンパス4学科、4、5年生)を対象として実施しました。また、午後には日本興業(株)志度工場にバス移動してコンクリート2次製品の製造過程について見学しました。

香川県内地場産業であるコンクリート2次製品について、座学と現場の視点から幅広くご指導いただきました。

なお、本講義と工場見学の実施については、香川県大学等魅力づくり補助金・地域企業への就職を推進するための学生の地域企業研究実施経費等を充当しました。



会則及び会費に関する細則

◆香川高等専門学校産業技術振興会会則

名 称

第1条 本会は、香川高等専門学校産業技術振興会と称する。

目 的

第2条 本会は、地域産業界と香川高等専門学校(以下「香川高専」という。)との連携を深め、香川高専が有する人・知・物的資源を活用し、技術交流や情報交換等各種事業を通し、地域産業の発展を図るとともに、香川高専の教育研究の振興に寄与することを目的とする。

事 業

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 産学連携による技術開発の推進、地域産業の発展に関すること。
- (2) 技術に関する講演会、講習会、研修会などの開催及び情報誌の発行。
- (3) 技術分野での技術相談、情報交換に関すること。
- (4) 企業社員の研修等育成支援事業に関すること。
- (5) インターンシップ、共同教育に関すること。
- (6) 企業説明会・見学会、卒業生による就職説明会に関すること。
- (7) 香川高専の教育・研究の充実、振興に関すること。
- (8) その他、本会の目的達成に必要な事業に関すること。

会 員

第4条 本会は、本会設立の趣旨に賛同する次の会員をもって組織する。

- (1) 法人会員 国内外の企業及び団体法人
- (2) 個人会員 本会の趣旨に賛同する香川高専卒業生等
- (3) 特別会員 大学、官公署、商工会議所等の公的機関、香川高専教職員

役 員

第5条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 若干名
- (4) 幹事 2名

役員を選出

第6条 役員は、総会において会員のうちから選出する。

役員の仕事

第7条 会長は、本会を代表し本会の業務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事は、本会運営に関する事項を処理する。
- 4 幹事は、会長を助けて会務を処理する。

役員の仕事

第8条 役員の仕事は2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。ただし、補充された役員の仕事は、前任者の残任期間とする。

会 議

第9条 会議は、総会及び役員会とする。

総 会

第10条 総会は、会員をもって構成し毎年1回開催する。

- 2 会長は、総会の議長となる。
- 3 総会において審議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 運営の基本方針に関すること。
 - (2) 事業計画並びに予算・決算に関すること。
 - (3) 役員の仕事に関すること。

会則及び会費に関する細則

- (4) 会則の改正に関すること。
- (5) その他本会の目的達成に関すること。
- 4 総会は法人会員及び個人会員の過半数の出席(委任状を含む。)をもって成立し、議事は出席者(特別会員を除く。)の過半数の同意を以て議決する。

役員会

- 第11条 役員会は、第5条に定める役員をもって構成し必要に応じて会長が招集する。
- 2 会長は、役員会の議長となる。
 - 3 役員会において審議する事項は、次のとおりとする。
 - (1) 本会の事業、会計及び運営に関すること。
 - (2) その他会務遂行上必要と認められること。
 - 4 役員会は年度末に会務ならびに会計報告を作り、総会で会員の承認を受けなければならない。

経 費

- 第12条 本会の運営経費は、会費、寄附金その他の収入をもって充てる。

事業年度

- 第13条 本会の事業年度は、毎年9月1日に始まり、翌年の8月31日に終わる。

事務局

- 第14条 本会は、香川高専地域イノベーションセンター内に事務局を置く。

その他

- 第15条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関して必要な事項は、役員会においてこれを定める。

附 則

- 1 この会則は、平成21年8月28日から施行する。
- 2 この会則施行後において最初に選任される役員の任期は、会則第8条第1項の規定にかかわらず、平成23年8月31日までとする。
- 3 この会則施行後の最初の事業年度は、会則第13条の規定にかかわらず、平成21年8月28日から平成22年8月31日までとする。

附 則

この会則は、平成21年10月1日から施行する。

◆香川高等専門学校産業技術振興会会費に関する細則

目 的

- 第1条 この細則は、香川高等専門学校産業技術振興会の会費に関し、必要な事項を定める。

会費の額

- 第2条 会費は年会費とし、次の各号のとおりとする。
- (1) 法人会員 3万円
 - (2) 個人会員 1万円
 - (3) 特別会員 免除する。

納入時期等

- 第3条 前条に定める会費の納入は、入会時及び毎年度(入会年度を除く。)9月末日までに納入するものとする。
- 2 納入された会費は、原則として返還しない。

附 則

この細則は、平成21年8月28日から施行する。

附 則

この細則は、平成21年10月1日から施行する。

役員名簿・会員名簿

◆役員名簿

平成28年12月1日現在

企業名	職 / 氏名	役職
株式会社ヒューテック	相談役 平田 喜一郎	会長
株式会社タダノ	取締役執行役員常務 西 陽一朗	副会長
株式会社百十四銀行	取締役常務執行役員 小槌 和志	副会長
アオイ電子株式会社	常務取締役管理本部長 木下 和洋	理事
株式会社石垣	代表取締役社長 石垣 真	理事
株式会社香川銀行	専務取締役 本田 典孝	理事
鹿島建設株式会社	常務執行役員四国支店長 風間 優	理事
川田工業株式会社四国工場	鋼構造事業部生産部 四国工場長 辻 巧	理事
株式会社四国総合研究所	代表取締役社長 澤田 佳孝	理事
四国電力株式会社	常務取締役 末澤 等	理事
四国旅客鉄道株式会社	専務取締役鉄道事業本部長 西牧 世博	理事
株式会社レクザム	取締役副社長生産本部長 住田 博幸	理事
三和電業株式会社	代表取締役 山地 真人	幹事
香川高等専門学校	副校長 木原 茂文	幹事

◆会員名簿 (50音順)

平成28年12月1日現在

法人会員

葵機工(株)	川崎地質(株) 四国支店
アオイ電子(株)	川田工業(株) 四国工場
(株)赤松商店	木下製粉(株)
(株)朝日段ボール	錦城護謨(株)
(株)綾野製作所	(株)KUMA
(株)石垣	(株)香西鉄工所
泉鋼業(株)	(株)互光通商
(株)今井鉄工所	(株)五星
(株)ウズマキ	(株)コヤマ・システム
(株)エイト日本技術開発	坂出機工(株)
(株)エスピーエフ	(株)サカコー
(株)OA.システムシャープ	三協エンジニアリング(株)
(株)大矢根利器製作所	(株)三光エンジニアリング
オリエンタルモーター(株) 高松国分寺事業所	讃光工業(株)
(株)香川銀行	三和電業(株)
香川シームレス(株)	(株)シーマイクロ
鹿島建設(株)	(株)ジェイアール四国コミュニケーションウェア
(株)川上板金工業所	四国化工建設(株)
川崎化工(株)	(株)四国総合研究所

事務局からのお知らせ

【今後の予定】

1. 産業技術振興会主催 香川高専生のための合同会社説明会

香川高専学生が就職先を選択するうえにおいて、企業の採用担当者の方と接し、産業技術振興会加盟企業の会社概要及び採用状況などについて情報収集の場を設けることを目的とし、今年度についても下記のとおり合同会社説明会を実施しますのでお知らせします。詳細のご案内はメール及び郵送により送付しておりますので、ご確認ください。

なお、詫間キャンパスの学生も参加できるように、借上バスを配車する予定です。

日時 平成29年3月22日(水) 9:00~12:00

会場 香川高専高松キャンパス第1体育館

参加費 無料

2. 求人票について

香川高専学生の採用希望がある場合は、求人票を各キャンパスのキャリアサポートセンター事務担当までご提出ください。

求人票の様式につきましては、差し支えなければ、香川高専様式をご使用ください。貴社が作成した独自の求人票でも受付いたします。いただいた求人票は、PDFとして学内限定サイトで学生に開示しています。

なお、本校様式の求人票は本校ホームページ(就職・進学情報>企業の皆様へ)からダウンロードできますので、ご活用ください。

URL:<http://www.kagawa-nct.ac.jp/placement/company/takamatsu/kyujinhyo.xls>

3. 技術講座予定

第6回【現場で役立つ原位置透水試験法(応用コース)】

講師：能野 一美 氏((株)四電技術コンサルタント)

赤坂 忠生 氏、多田 健 氏((株)ナイバ)

久保 慶徳 氏、向谷 光彦(香川高専)

日程：平成29年1月27日(金) 9:30~16:30

内容：(1)原位置透水試験装置とは

原位置透水試験装置の最新研究動向とハイテラス工法の紹介

(2)室内モデル地盤試験

(3)屋外における原位置透水試験の実装

4. 特別講演予定

日程：平成29年1月19日(木) 16:20~17:00

演題1：「量子ビームについて」

講師：広田 耕一 氏(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 経営企画部 広報課 課長)

演題2：「量子ビームを用いたがん治療の紹介」

講師：早乙女 直也 氏(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 臨床研究クラスター病院 医学物理室 研究員)

演題3：「量子ビームを用いた産業応用研究の紹介」

講師：河内 哲哉 氏(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 経営企画部 次長)

Pickup

◆高専ロボコン2016全国大会で優勝しました

平成28年11月20日(日)に両国国技館において、「アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2016全国大会」が開催されました。今年の競技はロボットによる「新大陸開拓」で、待ち受ける障害をロボットで乗り越え、新大陸を開拓した証としてブロックを積み上げ「砦」を築き上げます。制限時間内に相手より高い「砦」を完成させたチームの勝利となるものです。香川高専高松キャンパスからは、「八機八構(ハッキヤコウ)」が出場しました。

「八機八構」は、決勝までの再試合を含む5試合すべてにおいて、240cmの砦を築きあげて勝利し、優勝を決めました。香川高専高松キャンパスは去年準優勝の雪辱を晴らし、見事初優勝を成し遂げました。



◆編集後記

今回、香川高専にご協力頂いている産業技術振興会の会員企業様を、学生の保護者の方々にも知って頂くために、保護者の皆様へ会報を送付しました。本会は、「地域産業界と香川高専との連携を深め、香川高専が有する人・知・物的資源を活用し、技術交流や情報交換等各種事業を通じ、地域産業の発展を図るとともに、香川高専の教育研究の振興に寄与すること」を目的として、平成21年8月に発足したものです。本会員企業様と香川高専の連携について、少しでもPRできればと思います。

会報及び産業技術振興会に対するご意見、ご希望等がございましたら、お気軽にお寄せください。

今後ともよろしくお願いたします。

香川高等専門学校産業技術振興会

〒761-8058 香川県高松市勅使町355
香川高専総務課 研究協力係

TEL:087-869-3865・3815・3818

FAX:087-869-3819

E-mail:kenkyu@t.kagawa-nct.ac.jp
<http://www.aip-kagawa-kosen.org/>